



2025 SPRING No.69

SEASON



写真：春めく中央図書館

ISSN 1349-3760

2 新年度 図書館長挨拶

4 特集 「図書館利用 基本のキ」

7 中央図書館 最近の企画展示
ミニコーナー 図書館のとある日常

8 図書館掲示板

「読書は黄金の輝き」

——創価大学図書館指針より

2024年9月17日に文化庁が発表した「国語に関する世論調査」によると、1か月間に本を読まない人の割合が全体の6割超に上がることが明らかになりました。また、読書量が以前より減ったと答えた人も過去最多の約7割となり、読書離れの加速は新聞や各種メディアでも大きく報じられました。

このような状況から「若者の活字離れ」と言われますが、本当にそうでしょうか。一面ではあるかもしれませんが、そう断言するのは早計でしょう。

創価大学中央図書館では、学生が読書の楽しさを再発見し、知的探究心を深める場となることを目指し、さまざまな取り組みを行っています。そのひとつが、全学読書運動 Soka Book Wave を推進する団体として2006年度に誕生した、学生主体の「Soka Reading Project (SRP)」です。

SRP は、大学の授業とは別に、学生が主体的に企画し、図書館スタッフが全面的にサポートするプロジェクトです。放課後に定期的なミーティングを行い、教員のおすすめ本や学生同士のおすすめ本の展示を企画したり、「ビ

ブリオバトル」を開催したり、イベント情報を Instagram で発信したりと、その活動は多岐にわたります。学生の自由な発想と主体的な行動を尊重し、教職員と連携しながら、図書館を「知の交差点」として活性化させることを目指しています。

この活動は学外にも広がりを見せています。例えば、『週刊読書人』の「書評キャンパス」では、本学の学生が自分の「押し本」の書評を投稿し、2024年度だけで6名、累計で11名の学生の文章が掲載されました。異なる学部の学生が、それぞれの専門や関心を生かして書評を書くことで、多様な視点が交差し合い、読書の魅力がより深まっています。

こうした試みはマスメディアにも注目されることとなり、今年1月の「朝日新聞 Think キャンパス」では、「本に触れ、人と出会い、新たなつながりが生まれる場にしたい。図書館の新たな可能性を広げる創価大学の教職員と学生の取り組み」との見出しで、SRPメンバーと私へのインタビューが掲載されました（末尾 URL からご覧ください）。

その記事でも紹介されましたが、ある女子学生は高校時代までほとんど本

を読まなかったものの、「図書館に通うきっかけが欲しい」と考え、大学1年生でSRPに参加しました。仲間たちの影響を受け、2年生の現在までに200冊の本を読破。彼女は「SRPに入って図書館が好きになりました。卒業までに500冊の本を読み、自分自身の学びを深めたいです」と目を輝かせています。

SRPメンバーと接していると、「若者の活字離れ」という世間でよく聞くフレーズも、ややステレオタイプな見方ではないかと思います。むしろ、本を通しての「つながり」は多様化しながら新しい局面を迎えつつあるのだらうと思います。大人の私たちこそ、その多様性についていくことができているかが問われているのかもしれない。

図書館は単に本を並べる場所ではなく、知を深め、探究し、新たな視野を広げる場です。みずから目標を定め、知のアンテナを張りめぐらせ、思索を深める「自律的学習者」を育む場でもあります。この取り組みを今後も継続し、学生の自由な発案をさらに取り入れながら、教職員・学生が一体となって図書館を進化させていきたいと考えています。そして、活字文化の再生を



通じて、日本文化の新たなルネサンスの一翼を担えればと願っています。

図書館は知的探求の冒険が始まる場所です。皆さんもぜひ図書館の扉を開き、新たな世界へ踏み出してみませんか。

※『朝日新聞』Think キャンパスの記事は下記からご覧ください。

[本に触れ、人と出会い、新たなつながりが生まれる場にしたい。図書館の新たな可能性を広げる創価大学の教職員と学生の取り組み | 朝日新聞 Think キャンパス](#)



LIBRARY



図書館利用
基本の「キ」

新入生のみなさん、まだ図書館がよく分からないと感じているみなさん、
図書館の基本的なサービスを知って、大学図書館ライフを満喫してください。

01. 貸出 Borrow

貸出手続きは、1Fカウンター、またはカウンター横の自動貸出機をご利用ください。貸出には利用証が必須です。

詳しい貸出条件については、右の表をご確認ください。

自動貸出機の操作方法は画面に案内が表示されますので、確認しながら進めてください。

利用者	上限冊数※1	貸出期間※2		
		図書	視聴覚※3	雑誌
教職員	30冊	4週間	1週間	1週間※4
大学院生				
大学院所属学生				
学部生	20冊	2週間	1週間	貸出不可
短大生				
別科・留学生				
その他学部所属学生				
通教生	10冊	4週間	1週間	貸出不可
退職教職員	30冊	4週間	1週間	貸出不可
その他学外利用登録者	10冊	4週間	1週間	貸出不可

写真：自動貸出機



《自動貸出機利用時の注意ポイント》

1. 本の背を奥にピッタリつける！
2. 台に乗せた本のタイトルが画面に表示されますので確認を！
3. 間違いなければ貸出ボタンをタッチ！
4. レシートが出るまで本はそのまま動かさない！
5. 貸出された本がレシートに印字されているかをチェック！

02. 返却 Return

資料の返却は、1Fカウンター、または学内ブックポストをご利用ください。



写真1：中央図書館入口右側

学内には4か所ブックポストが設置されています。
ブックポストの設置箇所は、

1. 中央図書館 入口右側
2. 理工学部 E 棟 入口左側
3. 中央教育棟 南側入口
4. 本部棟 4 階東側入口

上記の4か所となります。



CD、DVDの視聴覚資料は学内ブックポストに返却できません。

必ず、カウンターで返却してください。



写真2：理工学部 E 棟入口左側



写真4：本部棟4階東側入口



写真3：中央教育棟南側入口

学内ポストは、原則として平日開館日の8:00～8:50の間に回収します。

土日祝日または長期休館日の場合は、翌平日開館日に回収します。

返却時は、付属資料（CD、冊子など）の返却忘れにご注意ください！

03. 予約 Reservation

貸出中の資料には予約をすることができません。資料が返却されたら、電子メールでお知らせし、1週間カウンターに取り置きます。

貸出中ではない資料について予約をかけることはできません。

貸出状況は、蔵書検索から、検索結果一覧 > 詳細表示 > 貸出情報から確認することができます。

※「予約する」ボタンは詳細表示画面上部に表示されます。



※貸出情報は詳細表示画面下部の蔵書情報内に表示されます。

請求記号	資料状況	配架場所	貸出情報
913.6	配架 2024/05/09	中央 3階閲覧室 [マップ]	貸出中
133		関学 紙	

04. 罰則 Penalty

資料の延滞がある場合、新たな貸出ができません。それに加え、以下の罰則が適用されます。

- (1) 8日以上31日以内の延滞をした場合は、返却日から7日間は貸出ができません。
 - (2) 32日以上延滞をした場合は、返却日から31日間は貸出ができません。
- ※日数計算は、開館休館に関わりません。

資料延滞による詳しいサービスの制限については、右記のQRコードより図書館ウェブサイトでご確認ください。



新入生の皆さまへ

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。
創価大学図書館は約100万冊の資料を所蔵しており、中には池田文庫や創立者著作コレクションなど貴重な資料も数多く収められています。
またオンラインで利用できる、学習に便利な多種多様なデータベースも取り揃えています。
必要な資料の探し方、データベースの利用の仕方など図書館の利用でお困りの際には図書館スタッフへお気軽にご相談ください。

最近の企画展示



2025.1
世界ミステリー紀行

世界各国には、私たちがまだまだ知らないミステリーの名作があります。今回の展示では世界各国の名作ミステリーを紹介しました。またそれぞれの作品の簡単なあらすじとともに、作品の舞台となった国を紹介しました。

図書館のとある日常

図書館のあれこれ。中のヒトが伝えます。

2024.12.18 (wed)
ビブリオバトル

Soka Reading Project (SRP) 主催ビブリオバトルを開催しました。

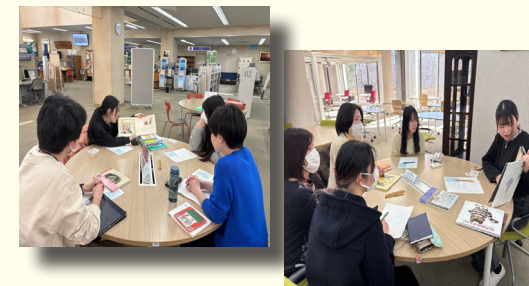
当日は、4名のバトル者がそれぞれのおすすめ本を紹介、熱いバトルを繰り広げました。全員の発表後、「どの本が一番読みたくなったか」を基準に参加者が投票を行い、今回、チャンプ本には、理工学部・若木家あおいさんが紹介した『ただしい人類滅亡計画-反出生主義をめぐる物語』(品田遊著)が選ばれました。バトル後、集計中の時間には参加者同士でフリートークを行い、イベントの感想や本の話などで盛り上がりま



2025.1.29 (wed)
絵本ブッククラブ

読書会「絵本ブッククラブ」を開催しました。当日は参加者がグループに分かれて、図書館にある絵本を数冊選び、内容を深め合いました。

参加者からは「普段自ら手に取らないような絵本に触れることによって絵本を通して感じることや、グループでディスカッションをすることによりそれぞれが絵本を通して感じる価値観や感受性の違いを知ることができ、非常に良い機会となりました」
「とても有意義な言葉のやり取りがあったなと思いました。さまざまな視点から、登場人物に心を寄せたり客観的に見てみたりと面白かった」
などの感想が寄せられました。



掲載されました

書評専門紙「週刊読書人」紙面上でのコラム『書評キャンパス』に2024年度も多くの学生が参加し7名が掲載されました！次に掲載されるのはあなたかも？

<掲載された資料例>

- 『さぶ』山本周五郎, 新潮社, EC-1/JL/ヤマ
- 『博士の愛した数式』小川洋子, 新潮社, 913.6/0 24
- 『死に急ぐ鯨たち』安部公房, 新潮社, 913.6/A 12

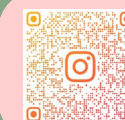


Soka Book Wave (全学読書運動)

今年度もイベント等の開催を予定しています。ぜひ、ご参加ください！



ご参加お待ちしております



Follow Me!
@SOKA_LIBRARY_SRP

SRP公式
Instagram
あります

TOSHOKAN 図書館掲示板 KEIJIBAN

中央図書館
開館日程です

8:30~21:00

10:00~17:00

9:00~21:00

休館

4

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

設備変更のお知らせ

学内の完全 BYOD 化 (Bring Your Own Device ※個人が所有するノートパソコンなどを、学校や職場において利用すること) に伴い、現在、中央図書館では学習に利用するためのパソコンは設置されておられません。

また館内に設置されているプリンタには、ご自身のデバイスから接続しご利用ください。

書庫利用講習会のお知らせ

2025年度は5月より「書庫利用講習会」を開催いたします。

中央図書館の書庫を利用する入庫資格を希望される方は、この講習会を受講してください。

一度受講すると、入庫資格は在籍期間中(卒業まで)有効です。

開催日時、申込方法などの詳しい情報は、学内ポータルサイト、図書館ウェブサイトなどでお知らせいたします。